

〔セクションⅠ〕基礎基本の理解度アップ

実態把握 ～知的障がい～



研修動画は
こちらをクリック
又は読み込み

1 子供の理解の進め方

主観的な理解

- 多くの教師の多面的な観察
- 子供のよさを見いだす

客観的な理解

- 検査等の資料を基に判断
- より正確に子供を理解

共感的な理解

- 内面的な要素を重視
- 心の動きを受け止める

情報の収集と活用のポイント

- 継続的に情報を収集する。
- 収集した情報を整理する。
- 検査や調査の結果のみで判断することなく、子供を見つめ、総合的に判断する。

2 指導や支援に向けた情報収集

医学的な情報

- ・ 既往歴や診断の有無
- ・ 健康状態
- ・ 服薬や発作の有無
- ・ 検査結果 等



心理学的な情報

- ・ 知的発達の状態
- ・ 社会性の発達の状態
- ・ 検査等の結果 等

保護者からの情報

- ・ 成育歴や教育歴
- ・ 家庭環境
- ・ 生活習慣
- ・ 保護者の願い 等

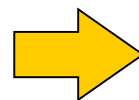
教育的な情報

- ・ 学習の状況
- ・ 興味・関心
- ・ 社会性、コミュニケーション
- ・ 指導上の配慮事項 等

3 実態把握をする際のポイント

子供のよさを捉える

- ・得意なこと、興味・関心のあること
- ・は何か
- ・その子らしさ、持ち味は何か



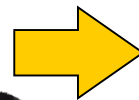
生かす
伸ばす

子供の課題を捉える

- ・できそうなことは何か
- ・どのようにしたらできそうか
- ・困難なことなどは何か
- ・その原因は何か



課題の**背景要因**に
目を向けましょう



応じる
改善する



4 教育的側面からの知的障がいの状態の把握①

発達の状態等に関すること

- 身辺自立（食事、排せつ、着替え 等）
- 社会生活能力（買い物、公共機関の利用 等）
- 社会性（社会的ルールを理解、集団行動 等）
- 学習技能（読字、書字、計算、推論 等）
- 運動機能（協調運動、持久力 等）
- 意思の伝達能力と手段（言語の理解と表出の状況と手段 等）

「障害のある子供の教育支援の手引」文部科学省（令和3年6月）

4 教育的側面からの知的障がいの状態の把握②

本人の障がいの状態等に関すること

- 学習意欲、学習に対する取組の姿勢や学習内容の習得
 - * 学習の態度（着席行動、姿勢保持）が身に付いているか。
 - * 学習や課題に対して主体的に取り組む態度が見られるか。
 - * 学習や課題に対する理解力や集中力があるか。
 - * 読み・書き・計算などの学習の習得の状況はどうか。
- 自立への意欲
 - * 自分で周囲の状況を把握して、行動しようとするか。
 - * 周囲の状況を判断して、自分自身で安全管理や危機回避ができるか。
 - * 自分でできることを、他者に依存していないか。
 - * 周囲の支援を活用して、自分のやりたいことを実現しようとするか。

▪ 対人関係

- * 実用的なコミュニケーションが可能であるか。
- * 協調性があり、友達と仲良くできるか。
- * 集団に積極的に参加することができるか。
- * 集団生活の中で、一定の役割を果たすことができるか。
- * 自分の意思を十分表現することができるか。

▪ 身体の動き

- * 粗大運動が円滑にできているか。
- * 微細運動が円滑にできているか。
- * 目と手の協応動作が円滑にできているか。

▪ 自己の理解

- * 学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲をもっているか。
- * 自分のできないこと・できることについての認識をもっているか。
- * 自分のできないことに関して、教師や友達の支援を適切に求めることができるか。

演習

演習用シート

実態把握の項目	児童生徒のよさ	児童生徒の課題
	- 得意なこと、興味・関心のあること - その子らしさ、持ち味	- できそうなことは何か - どのようにしたらできそうか - 困難なことなどは何か - その原因は何か
A 学習意欲や学習に対する取組の姿勢や学習内容の習得の状況		
1 学習の態度（着席行動、姿勢保持）が身に付いているか。 2 学習や課題に対して主体的に取り組む態度が見られるか。 3 学習や課題に対する理解力や集中力があるか。 4 読み・書き・計算などの学習の習得の状況はどうか。		
B 自立への意欲		
1 自分で周囲の状況を把握して、行動しようとするか。 2 周囲の状況を判断して、自分自身で安全管理や危険回避ができるか。 3 自分でできることを、他者に依存していないか。 4 周囲の支援を活用して、自分のやりたいことを実現しようとするか。		
C 対人関係		
1 実用的なコミュニケーションが可能であるか。 2 協調性があり、友達と仲良くできるか。 3 集団に積極的に参加することができるか。 4 集団生活の中で、一定の役割を果たすことができるか。 5 自分の意思を十分表現するこ		

担当している
 子供の実態について、
 「障害のある子供の教育支援の手引」の
 項目に照らして整理してみましょう！